

エンジン (1)**CBR600RR**

2003年のデビュー以来、CBR600RRに搭載される水冷DOHC直列4気筒600ccエンジンは、市街地においてもサーキットにおいても、その扱いやすさとパフォーマンスを証明してきました。鋭い加速を追求するばかりでなく、パワーレンジが広く扱いやすく、かつコンパクトなエンジンサイズは、優れたハンドリング性能を実現するためのマスの集中化にも貢献しています。

このエンジンは、2010年からロードレース世界選手権シリーズに新設されたMoto2クラスにおいて、CBR600RRのエンジンをベースに、オフィシャルエンジンサプライヤーとしてワンメイクで参戦チームに供給するなど、そのポテンシャルの高さと信頼性を証明しています。

今回、高回転域でのトルク特性を向上させるために、空気吸入口のラムダクトの形状を見直しています。

■水冷・DOHC・直列4気筒・600cc エンジン